

Pick Up News

本学建築学科では卒業論文が卒業設計の取り組みとその成果の提出・発表が必須です。4年間の学びの総仕上げ、研修活動のまとめとなります。卒業論文は、各研究室での研究テーマに沿って、さまざまに行われます。2月7日には、3会場で発表会が開催され、全員が教員・学生の前で発表をし、質疑に答えました。今年は59の研究題目数の発表がありました。建築各分野にわたるさまざまな研究が行われていますが、東北地方を対象とした地域密着型の研究、震災後の課題を追究した研究、最先端の話題に関わる研究など、本学科の教育・研究の特色がよく見える内容となっています。下に掲げる論文題目をご覧くださいただけでも、その学びの魅力が伝わるのではないのでしょうか。卒業設計についてはせんだいメディアテークでの展覧会・発表会を交えて、次号にてご報告いたします。

新井研究室(計画系)

■ NPOが運営する空き家活用シェアハウスにおける事業関係者の役割に関する研究ー菜園付きシェアハウス長町南を対象とした計画から入居開始までのアクションリサーチ

災害公営住宅

■ 災害公営住宅における暮らしとコミュニティの変化ーあすと長町での入居半年後・1年半後・3年半後の居住実態の比較から

コミュニティと住民組織の形成と運営に関する研究

■ 塩釜市内4住宅の比較分析

災害公営住宅の集会所を活用した居場所づくりに関する研究

■ 借り上げ仮設住宅退去後の再建動向と住まい選択に関する研究ー盛岡市への内陸避難後民間賃貸住宅へ入居した世帯を対象にして

不破研究室(計画系)

■ まちづくり活動における地域住民と地元大学生への影響に関する研究ー仙台市太白区を事例として

さくらんぼ景観

■ さくらんぼ景観を構成する畑および副産物の実態に関する研究ー山形県東根市を対象として

岩手県大籠におけるキリシタンの里の空間構成に関する研究

■ 地域固有の間取りの特性と変化の実態ー岩手県一関市巖美町矢櫃地区を対象として

街道沿いの町屋の構成とその変容過程に関する研究

ー岩手県水沢を対象として

カフェ・喫茶店とまちとの関係性

ー「仙台のカフェ」を題材に

重要伝統的建造物群保存地区

■ 重要伝統的建造物群保存地区における観光マップの特性とその役割

石井研究室(計画系)

■ 東日本大震災における計画的避難区域への帰還とそれに伴う生活の変化についてー福島県飯館村における2事例の調査より

過疎地域における在宅認知症高齢者の居住を支える環境要素についての研究

ー事例を通して

福祉施設における木造・木質化の実際と可能性

ー5つの事例による調査から

障害者支援施設における知的障害者の生活と空間利用の実態

ー築45年を迎えるF施設における分析

中村研究室(歴史・意匠系)

■ 大工棟梁による茶室の描画方法

宮城県岩沼市の近代和風住宅について

■ 登米の近代建築・ヤマカノ醸造について

登米神社の建築について

ー江戸から明治にかけての建築様式の変化

満谷寛峯寺の住坊・仁王堂の建築

■ 満谷における歴史的建造物の分布特性について

岩手県奥州市水沢の武家屋敷

■ 旧吉田家住宅について

青森県弘前市仲町伝統的建造物群保存地区における住宅配置の時代変遷に関する研究

■ 伝統的住宅の維持管理の実態と課題ー弘前市仲町伝統的建造物群保存地区を事例として

藤研究室(構造系)

■ 制震装置の設置箇所による制御性能の変化ー東北工業大学5号館のダンパー・ブレースを対象に

大空間構造の屋根接合部の柔軟化の効果

ー名取市民体育館をすべり支承にした場合

経済性を考慮した制震効果の最適化

ー東北工業大学10号館での検証

堀研究室(構造系)

■ 同調マスダンパーを用いた免震建物の長周期化による地震応答抑制の検討

免震建物における変位依存オイルダンパーによる地震応答抑制

■ 高層免震建物を想定した試験体の摩擦ダンパー設置時の地震応答特性

船木研究室(構造系)

■ 鉄骨屋根構造の振動応答特性

津波による漂流物の衝突力に関する解析的研究

■ 拡底式あと施工アンカーの載荷試験

慣性質量効果を有する液流ダンパーを用いた1層制振組の振動加振試験

■ 最知研究室(環境・設備系)

凍結融解作用を受けた既存コンクリート表面の損傷度の評価について

ーフラクタル分析の応用

仙台市内小学校周辺における組積造塙の状況変化に関する調査研究

ー組積造塙の変遷傾向とひび割れの状況

有川研究室(材料・生産系)

■ 宮城県における木材の地産地消に関する調査研究

宮城県の木造住宅の生産体制に関する研究

ー大工の職能の変化

山形県・宮城県の中古住宅流通促進に関する研究

ー中古住宅市場における建物と土地の評価

地方小都市における公共施設マネジメントに関する研究

ー付加価値を加味した先進自治体の取り組み

仙台市における公共工事の入札に関する調査研究

ー入札の現状と総合評価に関する調査

渡邊研究室(環境・設備系)

■ WVRを用いた仙台における海風日・西風日の再現

仙台都市気候に関するCFD解析

■ 仙台市における大気温度と地中温度の多点同時計測

仙台市における夏季の人工排熱量の推定

■ 東日本大震災前後の土地被覆と気温の変化の分析

仙台市の人口推移と水道整備の実態に関する研究

■ 避難自助検討のための洪水ハザードマップの在り方に関する基礎的研究

東北地方の気候風土に対応したZEHのあり方に関する研究

ー創エネルギーに関する検討

仙台市内における下水温度差エネルギーの活用可能性に関する研究

■ 宮城県における木質バイオマス生産・流通の実態調査

BEMS導入建物における計測システム稼働の調査分析

■ 許研究室(環境・設備系)

中小設備企業における生産向上性に関する研究

ー見積書と数量表の連携について

外部建物の影響を考慮した日射遮蔽のシミュレーションに関する研究

■ BIMを用いたダクト設計に関する研究

BIM技術を用いた空調負荷計算に関する研究

ーRTS負荷計算法との連携について

木造オフィスビルにおける温熱環境の実測調査

ー初冬の实測結果について

建築教育におけるBIM技術の応用に関する研究

ーその1 図面表現と建築環境評価について

建築教育におけるBIM技術の応用に関する研究

ーその2 建築生産活動の見える化について

平成30年度卒業論文題目一覧 本学建築学科の多様な学びと学問・研究分野の幅の広さが見える内容です



Pick Up Lab

竹内研究室は、建築設計・建築計画を研究分野としています。ゼミ活動では、コンペへの参加や地域の調査活動を通して自ら考えて学習する機会に恵まれています。また、竹内先生の指導の元でできるだけ多様なことへの挑戦を推奨しています。マルチタスクに物事を解決する事で同時に処理する術を学び、一人では得られない経験や体験ができます。現在のメンバーは、それぞれの得意分野が違ってきます。自身の課題・見習いたい考え方や技術を竹内先生からの指導やメンバー同士で発見したり、拙いところは補い合ったりとお互いに協力することで周りから刺激を受けて、更に成長する機会が増えていきます。(3年堀海幸)



研究室での様子(3年生)



3年 成田 佳織 さん
仙台第三高校 出身

Pick Up Student

期末試験が終わり、春休みに入りました。1年後には卒業、と考えると、入学してから今までのことが思い出されます。普通科出身でなにも分からない状態でも、なんとか追い付こうと必死に取り組んだ1年生。急に難しくなった専門科目に戸惑いながらも、友人と支え合って乗り越えた2年生。そして、知識を身につけることはもちろん、それを自分の考えに反映してアウトプットする機会が増えた3年生。この3年間はとても充実しており、あっという間でした。これからは就職活動が始まり、並行して卒業研究も進めていくこととなります。残り1年、忙しくなりそうですが、大学生活の集大成にふさわしい、また、「学生にしかできないこと」も楽しむ1年にしたいです。



2年 原 悠斗 くん
福島東高校出身

Pick Up Student

建築を学び始めてから、あっという間に2年が経とうとしていることに驚いています。私は、はじめは建築分野を志していなかったのですが、入学してから今まで学んできたことは、全て初めて見聞きする事でした。これまでの大学生活を振り返ると、とても1人だけではやってきてこれませんでした。建築設計の授業では、工業高校出身の友人に図面の表現の仕方やCADの使い方などを教えてもらい、専門科目の授業では、勉強の得意な友人に問題の考え方やアドバイスを貰いながら課題に取り組み、多くの友人に助けてもらったことが印象に残っています。これからの大学生活では、将来自分が建築のどの分野に進みたいかを決める為に、これまで以上に真剣に日々の授業を受けていきたいです。